

星陵祭に寄せて

待望の『オンライン星陵祭』開幕を迎えました。「クラスの仲間」「実行委員の仲間」「係の仲間」そして、星陵生全員が共通の「仲間」意識を持ち、しっかりと準備してくれました。そのおかげでこのコロナ禍の中、オンライン星陵祭という形で開催できます。星陵生諸君、どうもありがとうございます。

ここに至るまでには、生徒会やクラス、部活動でも様々な「意見の対立」や「葛藤」もあったことと思います。しかし、君たちは、持ち前の積極性で困難を乗り越え、限られた時間や環境の中で懸命に準備をして来ました。こうしたプロセスを経たからこそ、望ましい人間関係を形成することや公共の精神を養うことの大切さ、星陵生としての帰属意識や連帯感を深めることの意味について考えることができました。さらに、生徒同士が互いに協力し合い、オンラインならではの技術を身に付け、工夫し自主的・実践的な態度を育てることを目指すことができました。そこに星陵祭の「意義」があります。

本年度のテーマは『想像×創造-message from Seiryō』です。本年度は前述いたしました星陵祭の「意義」を具現化するために、大きく分けて2点のことについて取り組みました。

1つ目は「グローバルゴールズ：持続可能な開発目標（SDGs）」に取り組みました。これから2030年までに取り組むべき17項目にある世界の諸問題の解決に向けた立案・討論・発表といった豊かな学びを多感な中学・高校時代から経験することで、本校の校訓「誠実な心でことにあたる 友情の輪を広げる 厳しさを自ら求める」ことの実現を目指しました。私たちは星陵祭を、本校の校訓「誠・友・厳」（誠実な心で事にあたる・友情の和を広げる・厳しさを自ら求める）の実践の場であると考えているからです。

2つ目はこのコロナ禍における活動です。今全世界で新型コロナウイルスの感染が確認され、私たちの生活は大きく変化することを余儀なくされました。その中で、本校はいち早くオンライン学習と取り入れました。様々なツールを用い、学習の歩みを止めることなく教育活動を続けてきました。このオンライン星陵祭はその成果の一つとも言えます。生徒の皆さんはオンラインに対応した様々なスキルを身に付けました。これからの社会は様々な物事への対応力が求められます。今回のオンライン星陵祭を通じて成長できた君たちのさらなる活躍に期待します。

来場者の皆様へ

この度はお忙しい中この星陵祭特設サイトへご来場いただき誠にありがとうございます。星陵生の想いが込められた星陵祭です。「正解のない問い」に挑戦した生徒達による「工夫を凝らした発表（動画）」の時間をお楽しみください。今後とも「地域に根ざした教育」と「世界に通用する人材を育てるグローバル教育」を展開する学校法人静岡理工科大学星陵中学校・高等学校をよろしく願い申し上げ、御挨拶とさせていただきます。